令和８年度過重労働解消キャンペーン

過労死等防止対策推進シンポジウム

～ 福井会場を開催しました ～



日時　2026（令和８）年11月24日（火）13:30～16:00
会場　福井商工会議所B1Fコンベンションホール
主催　厚生労働省
後援　福井県、福井市、福井弁護士会



当日は、約80名の方々にご参加いただきました。

1 基調講演

「パワハラを防ぐ為のコミュニケーション～自分も相手も大切に～」
株式会社クオレ・シー・キューブ　取締役　稲尾　和泉氏



- ハラスメントの判断基準や判断ポイントを確認した上で、ハラスメントをなくすためのコミュニケーションの手法について、ロールプレイングを交えながらお話いただきました。
- 講演後は多くの質問が寄せられ、パワーハラスメントの自覚がない人の対応はどうしたらよいか、ハラスメントに配慮を求められるため問題のある部下の指導が難しい、といった質問にもお答えいただきました。

2 企業からの取り組み事例発表

「医療機関におけるDXの取り組みについて」
社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院　事務部　部長　森下　毅氏



- 限られた人材で能登の地域医療を守るために、積極的にDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進され、先進的な取組事例をいくつも取り上げていただきました。
- RPA及び生成AIの活用によって、医療従事者の作業時間の削減が実現している成功事例と併せて、さらなる活用に向けた未来志向のお話がありました。

3 過労死遺族の声

北海道過労死を考える家族の会　高畠　賢氏



- 過労死で息子さんを亡くされたご遺族から、ご家族への思いをお話いただきました。
- 一言一言に、会場全体が聞き入り、涙する場面もありました。
- 「過労死は決してあってはならない」、そのために一人ひとりができることを考える機会となりました。